

新型コロナウイルス感染症対策について（お願い）

新型コロナウイルス感染症の全国的な感染状況を踏まえ、人数制限以下のイベントや施設利用につきましては、**消毒・手洗いの徹底やマスク着用、咳エチケット、3つの密を避けるなど、「新しい生活様式」を徹底し、距離が取れない・長時間の会合や会食など、感染リスクを回避できない場合については、中止を含めて慎重にご検討いただくようお願いいたします。**

なお、感染者の発生状況によっては再度休館となることがありますのでご了承ください。

<感染予防対策チェックリスト>

※下記のチェックリストをご活用いただき、確実な感染予防対策を講じていただくようお願いいたします。

1. 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施	チェック欄
①参加時に体温の測定ならびに症状（咳、息苦しさ、だるさ等）の有無を確認し、具合の悪い方は参加を認めていません。 特に、「緊急事態宣言」及び「まん延防止等重点措置」の対象地域、また、札幌市など外出自粛等の行動制限が要請されている地域への往来が14日以内にある人、濃厚接触がある人の参加は控えるなど慎重に判断します。	
②発熱や風邪症状で受診をしている人や服薬等をしている人は参加しません。	
③新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がある場合は参加しません。	
④発熱者や具合の悪い方が確認された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある人等に対して、適切な感染予防対策を行います。 ※感染予防対策例～接触感染のおそれのある場の消毒 接触した可能性のある人は外出を控え健康観察を実施する等 (必要に応じて保健所に相談し対応することとします)	
⑤会場に入る際の検温や消毒・手洗いの実施ならびに、イベントの途中においても適宜消毒・手洗いができるような場または機会を確保しています。	
⑥主に参加者の手が触れる場所を定期的にアルコールや次亜塩素酸ナトリウムを含有したもので拭き取る作業について協力します。(最低でも実施前後には行う)	
⑦飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行います。 ・互いに手を伸ばして届く範囲以上の距離（2m程度（最低1m））を保つ。 ・声を出す機会を最小限にする。 ・マスク着用、咳エチケットの徹底（マスクを持参していない人には主催者側で配布）	
⑧イベントの形態に合わせた感染拡大予防のための業種別ガイドラインに則した感染防止策をイベント主催者および施設管理者の双方において徹底します。	
⑨国の接触確認アプリ（COCOA）や北海道のコロナ通知システムを活用します。	
⑩感染防止の取組について、施設内掲示やホームページ等により、公表します。	
2. クラスタ（集団）感染発生リスクの高い状況の回避 ※3つの密（密閉空間・密集場所・密接場面）が同時に重ならない工夫	チェック欄
①定期的に換気を行います。（1時間に1回程度。可能であれば2方向の窓を開ける） ※冬期は換気扇による常時換気や室温が下がらない範囲（目安18℃以上）で窓を少し開ける。	X
②人を密集させない環境を整備します。 (人数をいつもより少なくする、利用の際に時間差を設ける、導線を一方にする、対面による会議を避け、書面会議や電話・ビデオ会議を利用するなど)	
③大きな発声をしません。（呼吸が荒くなること、ラップ等の鳴り物を含む）	
④共有物の適正な管理または消毒に協力します。（参加者が共有するものやドアノブ等様々な人が触れる物や場所の消毒、トイレは蓋をして流すなど）	
3. 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力	チェック欄
①参加した者の中に感染者が出た場合には、その他の参加者に対して連絡を取り症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれるよう連絡先を確実に把握しています。	
②参加した個人に対し、保健所などの聞き取りに協力すること、また濃厚接触者となった場合は、2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性があることを説明し、了承を得ています。	
4. その他 ※感染リスクを回避できない場合の会食は慎重に判断下さい。	チェック欄
①食事を提供する場合はパッケージされた軽食を個別に提供するとともに、席は斜め向かいに配置するよう環境を整えます。	
②会食は少人数・短時間とし、飲食する時だけマスクを外し、会話の際には大声を出さず、マスクを着用（黙食）します。	
③終了後は密接場面（集まったの会話等）を作らないよう速やかに解散します。	